

佐藤忠藏 四日 芝罘労働組合 飯塚政雄 関東車
輛工組合 栗山 某各一名宛 未換アリニガ何レ
モ 隠忍自毫 結束ノ崩壊ヲ防グ 最後ノ勝利ヲ
望ムト 一場ノ激勵 勇氣ヲ爲シタリ

第三 職工側ノ態度

會社 今回ノ解雇工場閉鎖ニ關シテハ 營業ノ
不振ニ由ル 割負淘汰ナリト云フモ 營業成績
ヲ觀ル時ハ 殊ニテ 急迫ノ状態ニ非ズ 一般工
場ノ振合ヲ見ルニ 先ヅ 高級社員ノ強行
ニ向テ 換テ 續クル場合ニハ ナク 職工ノ誠意
ヲ行フヲ 例トセリ 然ルニ 此具工場ニ於テハ
組長ノ命ヲ奉セザル者ノ 整理ト稱シテ 組合
ヲ切崩シト スルニ マリ 斯クノ 如キ 不合理

ニシテ 構暴ヤル 廢置ニハ 断テテ 屈服ニ難シ
向後幾ヶ月ヲ當ルトモ 能シテ 資本家ニ 対抗策
産者開放ニ 努力スベシト云フニ マリ

第四 會社側ノ態度

會社ニ於テハ 一人五百圓ノ 解雇手當要求ニ
ハ 應ジ 易キニ 將來ノ 記録ヲ 作り且ツ 組合工
場ニ 七級及 スルヲ 處ルニ 如ク ナルカ 職
工側ハ 復職ヲ 望ムニ 十ニ一ノ 現狀ニ アルヲ 改
テ 經過如何ニ マリ 三百圓乃至四百圓程度ニ
在テ 解雇セシムニ 其意 嚮ケルニ 一ノ 如シ

右及申(通)報(修)也